

日本史 Ⅰ/11

第1問 日本の貨幣の歴史について述べた文を読み、下の空欄 ～ にあてはまる適語を記せ。

古代においては、政府によって銭貨が発行された。 天皇の時に鑄造された富本銭に続いて、本朝（皇朝）十二銭とよばれた銭貨が鑄造された。このうち最初に発行されたものは、平城京への遷都直前に鑄造された和同開珎である。政府は流通を促すために を発令したが、どの程度流通したか明白ではない。

最後の本朝（皇朝）十二銭は、村上天皇の時に鑄造された である。稲や布などの物品貨幣も使われていたが、次第に商品流通が活発になると、鎌倉時代には中国から輸入された銅銭が使用されるようになった。室町時代も貨幣が鑄造されることはなく、中国から輸入された銅銭に依存した。しかし、民間で鑄造された などの悪銭が流通すると、撰銭行為が行われるようになり、撰銭令がたびたび発布された。

戦国時代には、戦国大名が金山・銀山を盛んに開発した。豊臣秀吉は、全国の金山・銀山を支配下において天正大判などをつくらせたが、これらはおもに贈答用で、貨幣のような流通性はもたなかった。

1636年、江戸幕府によって が鑄造されたことにより、撰銭は収束した。幕府は三貨である金貨・銀貨・銭貨の貨幣鑄造権を独占した。金貨は計数貨幣で、銀貨は 貨幣であった。それぞれの貨幣は流通圏が異なっていたため、両替商が重要な役割を果たした。

金貨や銀貨は幕府の財源確保を目的に改鑄されることがあった。将軍徳川綱吉の時代には、勘定吟味役 が貨幣改鑄を行ったため、物価が高騰して庶民は困窮した。この弊害を正すため、新井白石は以前の品位を戻した正徳小判を鑄造させた。江戸時代初期には金1両＝銀50匁が公定相場であったが、その後、銀に対する金の価値が徐々に上がっていった。幕末になると、外国との貿易が開始され、外国と日本の金銀比価の違いから多くの金貨が海外に流出したため、幕府は万延貨幣改鑄を行った。

明治政府は、欧米にならって金の価値を基準に取引が行われる金本位制をめざした。1871年に制定された 条例により十進法を採用して円・銭・厘を単位とし、1円は1.5gの金貨とした。さらに1872年に 条例を出して、金貨と交換できる兌換銀行券の発行をめざした。金本位制とは、国内では紙幣（銀行券）と正貨（金貨や地金）との交換が自由にでき、外国とは金の輸出入が自由にできるしくみである。しかし、金本位制が確立したのは、日清戦争後の1897年に 法が制定された後であった。

日本史 $\frac{2}{11}$

第2問 14世紀～17世紀の次の年表をみて、下の問い（問1～10）に答えよ。

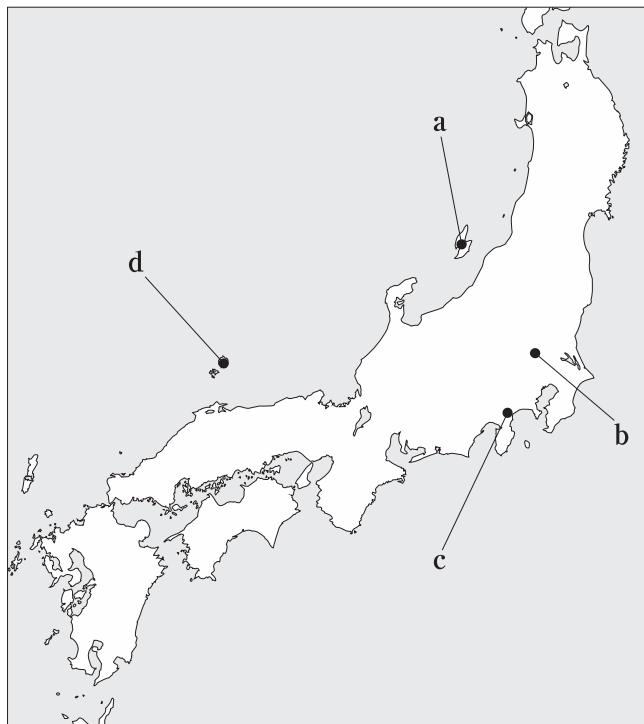
年代	おもな出来事
1333	後醍醐天皇が〈甲〉を脱出し、京都に帰還する
1336	㉔ <u>建武式目</u> が制定される
1401	㉑ <u>足利義満が遣明船を派遣する</u>
1439	足利義教が鎌倉公方 <input type="text" value="1"/> を討つ
1455	足利成氏が下総古河に拠る
1467	㉓ <u>応仁の乱</u> が始まる
1493	㉒ <u>伊豆の堀越公方が滅亡する</u>
1523	㉔ <u>寧波の乱</u> が起こる
1549	フランシスコ=ザビエルがキリスト教を日本に伝える
1568	織田信長が足利義昭を奉じて京都に入る
1582	㉑ <u>本能寺の変</u> が起こる
1590	豊臣秀吉が〈乙〉の北条氏を滅ぼす
1600	㉓ <u>オランダ船リーフデ号</u> が豊後沖に漂着する
1615	大坂夏の陣が起こる。武家諸法度・㉑ <u>禁中並公家諸法度</u> が制定される
1624	<input type="text" value="2"/> 船の来航が禁止される
1641	江戸幕府が平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す

日本史 $\frac{3}{11}$

問1 空欄 1 2 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 足利基氏 2 スペイン (イ) 1 足利基氏 2 イギリス
 (ウ) 1 足利持氏 2 スペイン (エ) 1 足利持氏 2 イギリス

問2 空欄〈甲〉〈乙〉に入る地名は次の地図上 a～d のどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- (ア) 甲－a 乙－b (イ) 甲－a 乙－c
 (ウ) 甲－d 乙－b (エ) 甲－d 乙－c

問3 下線部㊸を制定した次の人物X・Yと、その内容a～dについて、正しいものの組合せを、あとの(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 後醍醐天皇 Y 足利尊氏

- a 建武の新政の基本的方針 b 守護と国司の併置
 c 御成敗式目にかわる幕府の基本法典 d 当面の政治方針

- (ア) X－a (イ) X－b
 (ウ) Y－c (エ) Y－d

問4 下線部㊹について、この時派遣された義満の同朋衆であった正使は誰か、答えよ。

日本史 $\frac{4}{11}$

問5 下線部㉔について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 畠山・京極の両管領家の家督争いが原因の一つであった。
- (イ) 足利義視と、足利義尚を推す日野富子とのあいだに家督争いが起こった。
- (ウ) 細川勝元の東軍と山名持豊の西軍が対立して争乱が拡大した。
- (エ) 乱の結果、有力守護が在京して幕政に参加する幕府の体制が崩壊した。

問6 下線部㉕について、伊豆の堀越公方を滅ぼしたのは誰か、答えよ。

問7 下線部㉖について、この争乱が起こった背景について述べた次の文X・Yと、乱後の動きについて述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、あとの(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- X 定められた港に証票を持参することが義務づけられていた。
 - Y 堺商人と結んだ細川氏と、博多商人と結んだ大内氏が主導権を争った。
 - a 三浦に住む日本人の特権が縮小された。
 - b 勘合の発行が停止された。
 - c 幕府が交易権を独占した。
 - d 陶晴賢が大内義隆を滅ぼした。
- (ア) X－a (イ) X－b
(ウ) Y－c (エ) Y－d

問8 下線部㉗について、この変の前後の出来事について述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- I 小牧・長久手の戦いで、豊臣秀吉は徳川家康軍と戦ったが、和睦に終わった。
 - II 豊臣秀吉は聚楽第に後陽成天皇を迎え、諸大名に天皇と秀吉への忠誠を誓わせた。
 - III 長篠合戦により、騎馬隊を中心とする武田勝頼の軍は敗北した。
- (ア) I→II→III (イ) I→III→II (ウ) II→I→III
(エ) II→III→I (オ) III→I→II (カ) III→II→I

問9 下線部㉘について、この船の乗組員のうち、徳川家康が外交・貿易の顧問としたイギリス人の日本名は何か、答えよ。

問10 下線部㉙について、次に示すのは禁中並公家諸法度の第一条である。空欄に入る語句は何か、答えよ。

- 一 天子諸芸能の事、第一御（ ）也。

日本史 $\frac{5}{11}$

第3問 原始・古代から近現代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い（問1～10）に答えよ。

問1 原始・古代の倭国の対外関係について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の（ア）～（カ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 高句麗の好太王碑の碑文によると、倭国の軍が渡海して高句麗と交戦したとされる。

Ⅱ 倭王武は、南朝の宋の順帝に朝貢し、安東大將軍倭王に任命された。

Ⅲ 大伴金村が、対朝鮮政策の失敗によって失脚した。

（ア） Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ （イ） Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ （ウ） Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

（エ） Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ （オ） Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ （カ） Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問2 次の古代の人物X・Yと、その人物について述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、あとの（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 円仁 Y 藤原行成

a 遣唐使に同行して入唐し、密教を学び、天台宗の密教化を進めた。

b 極楽浄土に往生をとげた人々の伝記を集めた往生伝を著述した。

c 和様とよばれる優美な墨書を遺した書道の名手で、三跡の一人である。

d 漢詩文をよくした文人で、芸亭と名付けた図書館を学問する人々に開放した。

（ア） X-a Y-c （イ） X-a Y-d

（ウ） X-b Y-c （エ） X-b Y-d

問3 鎌倉時代の政治について述べた文として誤っているものを、次の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

（ア） 北条義時は、和田義盛を滅ぼして、政所と侍所の別当を兼ねた。

（イ） 北条泰時は、合議制を重視し、新たに三浦泰村を連署に任命した。

（ウ） 北条時頼は、後嵯峨上皇の皇子宗尊親王を将軍に迎えた。

（エ） 北条貞時は、内管領平頼綱を滅ぼして、幕府の全権を掌握した。

日本史 6/11

問4 中世の学問・教育について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の (ア)～(エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 後鳥羽上皇は、有職故実の書である『禁秘抄』を著した。
- b 金沢実時とその子孫は、金沢文庫を設けて和漢の書物の収集に尽力した。
- c 一条兼良は、政治上の意見書である『樵談治要』を著した。
- d 関東管領上杉憲実は、武蔵国にあった足利学校を再興した。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問5 江戸時代の藩政改革について述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の (ア)～(カ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- I 岡山藩主池田光政は熊沢蕃山を招聘するとともに、郷校閑谷学校を設けた。
- II 佐賀藩主鍋島直正は均田制を実施するとともに、反射炉を設置して大砲を鋳造した。
- III 米沢藩主上杉治憲は特産物を専売制にするとともに、藩校興譲館を再興した。

(ア) I→II→III (イ) I→III→II (ウ) II→I→III
(エ) II→III→I (オ) III→I→II (カ) III→II→I

問6 次の江戸時代の施策 X・Y と、その施策を実施した人物について述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、あとの (ア)～(エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- X 朝廷と幕府の融和をはかるために、閑院宮家を創設した。
- Y 株仲間を積極的に公認し、運上・冥加を増徴した。
- a 中国崇拜を廃して日本の歴史の優位性を説いた『中朝事実』を著した。
- b 時代の流れを「九変五変の説」ととらえる『読史余論』を著した。
- c 「年号は安く永しと変はれども 諸式高直いまにめいわ九」という落書で批判された。
- d 「白河の清きながれに魚すまず にごる田沼の水ぞ恋しき」という狂歌で批判された。

(ア) X-a Y-c (イ) X-a Y-d
(ウ) X-b Y-c (エ) X-b Y-d

問7 江戸時代後期の学問や思想について述べた文として誤っているものを、次の (ア)～(エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 本多利明は、『経世秘策』を著して西洋諸国との交易による富国策を説いた。
- (イ) 伊能忠敬が全国の沿岸を実測し、データをもとに「大日本沿海輿地全図」の完成に道を開いた。
- (ウ) 平田篤胤は国学の国粹主義に基づく垂加神道を大成し、尊王攘夷運動に影響を与えた。
- (エ) 緒方洪庵は大坂に適々斎塾(適塾)を開き、そこで福沢諭吉・大村益次郎らが学んだ。

日本史 7/11

問8 幕末の条約締結や明治政府の条約改正について述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の (ア)～(エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 日露和親条約では、千島列島の択捉島以南が日本領と画定された。
- b 日米修好通商条約で、初めてアメリカに一方的な最恵国待遇が認められた。
- c 大隈重信外相は、元老院への外国人判事の任用を認めたことで批判された。
- d 日露戦争後、小村寿太郎外相のもとで関税自主権の完全回復が実現した。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問9 明治・大正時代に活躍した次の人物 X・Y と、その人物の業績について述べた下の文 a～d について、正しいものの組合せを、あとの (ア)～(エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 徳富蘇峰 Y 黒田清輝

- a 政教社を結成して雑誌『日本人』を刊行し、近代的民族主義を唱えた。
- b 民友社をつくって雑誌『国民之友』を刊行し、平民的欧化主義を唱えた。
- c 日本初の西洋美術団体である明治美術会を結成し、脂派とよばれた。
- d 東京美術学校の西洋画科で学生の指導にあたる一方、白馬会を創立した。

(ア) X-a Y-c (イ) X-a Y-d

(ウ) X-b Y-c (エ) X-b Y-d

問10 戦後の政治や外交について述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の (ア)～(カ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- I 日ソ共同宣言に調印してソ連と国交が正常化し、日本の国連加盟が実現した。
- II 日米行政協定が締結され、日本は駐留軍に基地の提供や費用の分担をすることになった。
- III アメリカとの間で沖縄返還協定が調印され、沖縄の日本復帰が実現した。

(ア) I→II→III (イ) I→III→II (ウ) II→I→III

(エ) II→III→I (オ) III→I→II (カ) III→II→I

第4問 大戦景気から昭和恐慌後の日本の経済と社会について述べた次の文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。

日露戦争の戦費は、増税と内外の国債により賄われた。日本は戦勝国でありながら④賠償金を得ることができなかつたため、日露戦争後の財政は逼迫^{ひっぱく}していた。第一次世界大戦が起こると、日本は⑤日英同盟を名目にして参戦した。この時期、日本の貿易は大幅な へと転じた。特に、海運業・造船業は空前の好況となった。この時に成功した事業者は船成金とよばれた。

第一次世界大戦が終結してヨーロッパ諸国の商品がアジア市場に復帰すると、市場は生産過剰となり、日本は戦後恐慌におちいった。その後、1923年に起こった③関東大震災によりさらなる恐慌にみまわれ、震災手形の処理の不手際が金融恐慌へと発展した。

金融恐慌は、議会での片岡直温蔵相の失言が発端であった。銀行の取付け騒ぎが拡大するなか、①台湾銀行の経営危機が明らかになった。若槻礼次郎内閣は台湾銀行を緊急勅令により救済して事態の解決をはかろうとしたが、②枢密院に反対されて総辞職を余儀なくされた。かわって成立した④田中義一内閣は、金融恐慌を鎮静化させた。

日本は、国際競争力を回復しなければ慢性的な不況を脱出することはできない状況にあった。1930年、⑥浜口雄幸内閣は、緊縮財政・産業合理化政策を実施して金輸出解禁を断行し、為替相場の安定と貿易促進を実現しようとした。しかし、1929年にアメリカで起こっていた恐慌が世界恐慌へと発展し、日本経済は金解禁による不況とあわせて二重の打撃を受け、⑦昭和恐慌とよばれる深刻な状態となった。犬養毅内閣は金輸出再禁止を実行し、日本は金本位制から離脱して管理通貨制度に移行することとなった。以後、円安を利用した綿織物の輸出拡大や、鮎川義介が創業した などの新興財閥を中心とした軍需産業の成長により、産業界は活況を呈し、① 1933年頃には世界恐慌以前の生産水準を回復した。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | | |
|-----|---|------|---|--------------|
| (ア) | 1 | 輸入超過 | 2 | 日本窒素肥料会社(日窒) |
| (イ) | 1 | 輸入超過 | 2 | 日本産業会社(日産) |
| (ウ) | 1 | 輸出超過 | 2 | 日本窒素肥料会社(日窒) |
| (エ) | 1 | 輸出超過 | 2 | 日本産業会社(日産) |

問2 下線部④について、賠償金を獲得できなかった日露戦争の講和条約に反対して東京で起こった暴動事件は何か、答えよ。

日本史 $\frac{9}{11}$

問3 下線部㉔に関連して、日英同盟協約の変遷について述べた次の文X～Zについて、その正誤の組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 1905年、日英同盟協約が改定されて、イギリスは日本の韓国保護国化を承認した。

Y 日露戦争後、満州問題で日米関係が悪化すると、1911年、日英同盟協約が改定された。

Z 1921年の九カ国条約締結により、日英同盟協約が廃棄された。

(ア) X 正 Y 正 Z 誤 (イ) X 正 Y 誤 Z 正

(ウ) X 誤 Y 正 Z 誤 (エ) X 誤 Y 誤 Z 正

問4 下線部㉕に関連して、関東大震災の混乱の中で起こった出来事について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 日本の植民地支配を背景に、流言により朝鮮人が殺傷される事件が発生した。

Y 無政府主義者の大杉栄と伊藤野枝が憲兵により殺害された。

(ア) X 正 Y 正 (イ) X 正 Y 誤

(ウ) X 誤 Y 正 (エ) X 誤 Y 誤

問5 下線部㉖について、台湾銀行の経営危機は貸付先の倒産が主要な原因である。このとき倒産した総合商社を何というか、答えよ。

問6 下線部㉗に関連して、当時、中国で蒋介石が率いる国民党(国民革命軍)が全国統一をめざして進めていた動きを何というか、答えよ。

問7 下線部㉘について、この内閣ではモラトリアムの発令や日本銀行からの救済融資を行った。この時の大蔵大臣は誰か、答えよ。

問8 下線部㉙について、この内閣の時に参加した国際的な軍縮会議は何か、答えよ。

問9 下線部㉚について、昭和恐慌の様子やそれに対する政府の対応について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 企業の操業短縮や倒産が相次ぎ、失業者が増大した。

(イ) 東北地方の農家は困窮し、欠食児童や女子の身売りが続出した。

(ウ) 重要産業統制法を制定し、独占企業のカルテルの結成を禁じた。

(エ) 対米輸出にたよっていた生糸の価格が暴落した。

日 本 史 $\frac{10}{11}$

問10 下線部①に関連して、これ以前に起こった出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 柳条湖事件が起こった。

Ⅱ 第1次上海事変が起こった。

Ⅲ 日本が国際連盟からの脱退を通告した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日本史 $\frac{11}{11}$

第5問 次の問い（問1～3）のうちから2問を選択し、それぞれ200字以内で論述せよ。

また、解答用紙の注意書きに従って、選択した2つの問の番号を解答用紙の（ ）の中に必ず記入せよ。

問1 江戸時代の参勤交代は将軍と大名にとってどのような意味があったのかを説明した上で、参勤交代制の変遷について、200字以内で論述せよ。

問2 大日本帝国憲法が制定される過程について、法令の制定や制度の変更にも触れながら、200字以内で論述せよ。

問3 1930年代後半から1970年にいたるまでの米の生産と消費について、次の3つの用語を必ず使用して、200字以内で論述せよ（使用した語句には下線を施すこと）。

供出制 農業基本法 減反政策

< 問題訂正 >

選択科目「日本史」

25 ページ 第2問

(誤) 1590 豊臣秀吉が〈乙〉の北条氏を滅ぼす

(正) 1590 豊臣秀吉が〈乙〉を本拠地とする北条氏
を滅ぼす